2020 年度卒業生アンケートの集計結果

**■アンケートの実施時期と回収率**

2018 年度卒業生は、2019 年 3 月 20 日（水）に実施、卒業式終了後、アンケート用紙を配布しその場で回収（回収率 88.1%）。

2019 年度卒業生は、2020 年 3 月 18 日（水）伊丹キャンパスにて実施。式典は中止。学位記授与日にアンケ ート用紙を配布し回収（回収率 83.0%）

2020 年度アンケートはゼミナール内にて実施､回収をした（回収率は 91.6%）。

表　アンケートの回収率

| 年度 | 卒業者 | 回答者 | 回答率 |
|---|---|---|---|
| 2018 年 | 185 人 | 163 人 | 88.1% |
| 2019 年 | 159 人 | 132 人 | 83.0% |
| 2020 年 | 190 人 | 174 人 | 91.6% |

**アンケート項目及び回答結果**

**■学生生活全般**

問 1 ：本学に入学して良かったですか。

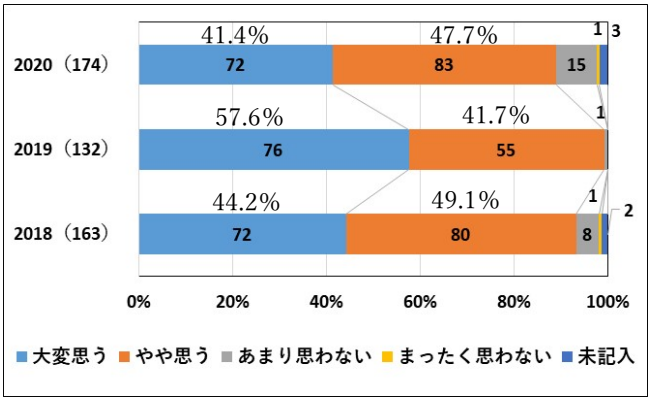


図　問 1 の回答結果

問 2 ：コース自由選択制（ユニット自由選択制）は良かったですか。

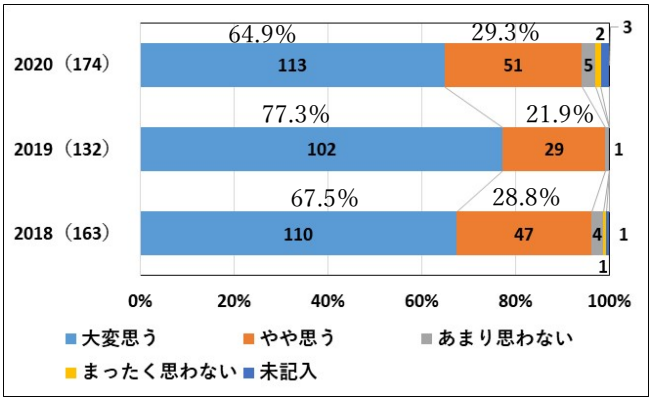


図　問 2 の回答結果

問 3：学修の満足度はどうですか。

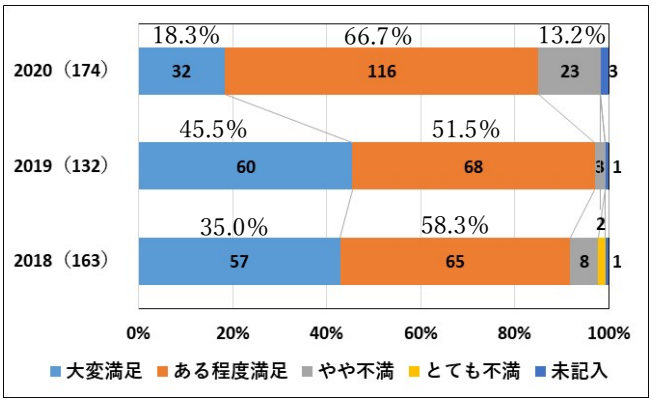


図　問 3 の回答結果

問 4：レポート作成やプレゼンテーションを行うためのＰＣ操作、インターネットの活用、図書館資料の活用に関するスキルは現在どの程度ついていると思いますか。

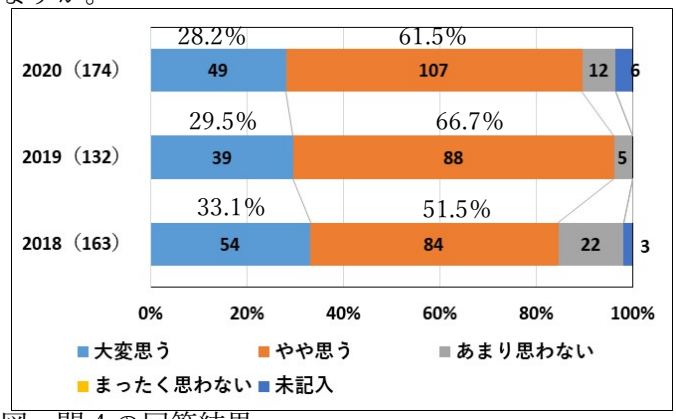


図　問 4 の回答結果

**分析結果（問 1～問 4）**

本学に入学してよかったと思っている学生が「大変思う」､「やや思う」が約 9 割を占めており、コース自由選択制やスキルに関してもほとんどの学生が「大変思う」､「やや思う」の回答率が、9 割以上を占めている。

一方、学習満足度は、2019 年は､「大変満足」､「ある程度満足」が約 8 割以上占めている。

問 5～問 7 在学中に力を入れたことはなんですか。

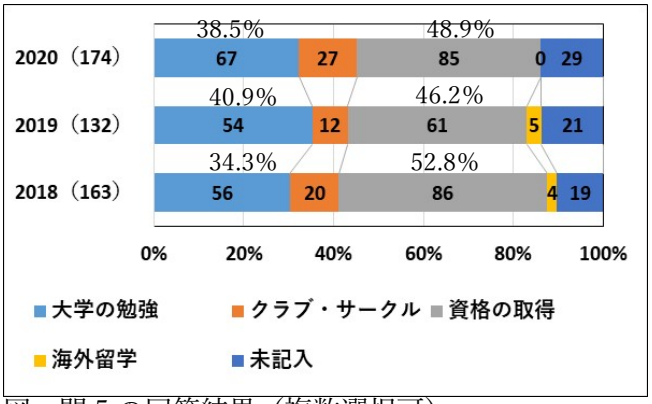


図　問 5 の回答結果（複数選択可）

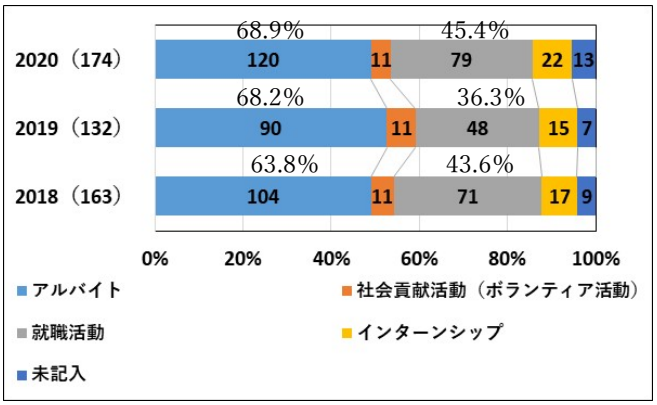


図　問 6 の回答結果（複数選択可）

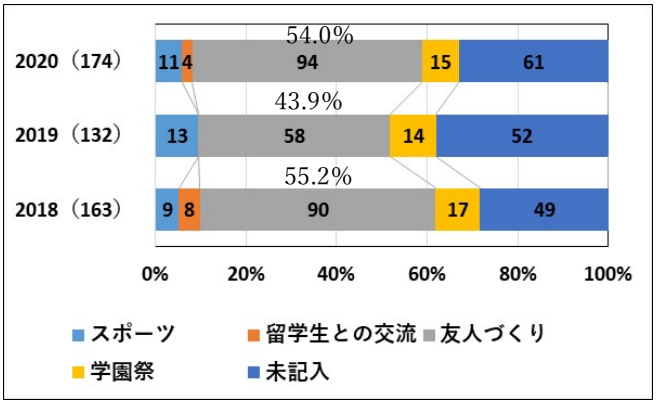


図　問 7 の回答結果（複数選択可）

問 8 ：資格取得したもの（複数選択可）

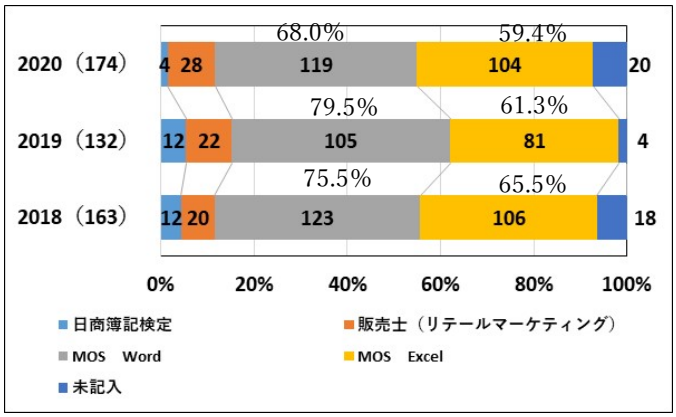


図　問 8 の回答結果（複数選択可）

**分析結果（問 5～問 8）**

「アルバイト」の占める割合が高く、次いで、友人づくり、資格の取得、就職活動という順になっている。

クラブ・サークル、社会貢献活動、学園祭や留学生の交流は全体的に低い割合となっている。問 8 の資格取得したものは、例年と同様 MOS Word、MOS Excel の資格を取得する学生の割合が多い。

**■C-PLATS®の成果について**

問 9　C（コミュニケーション能力）について

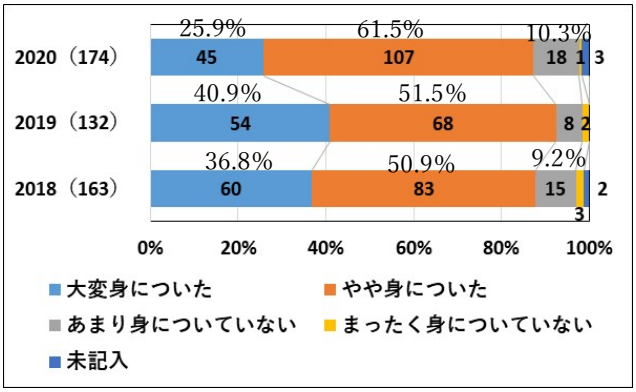


図　問 9 の回答結果

問 10　P（プレゼンテーション能力）

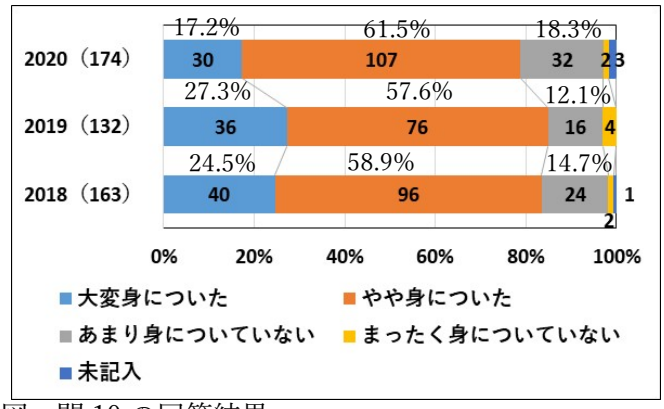


図　問 10 の回答結果

問 11　L（言語能力）について

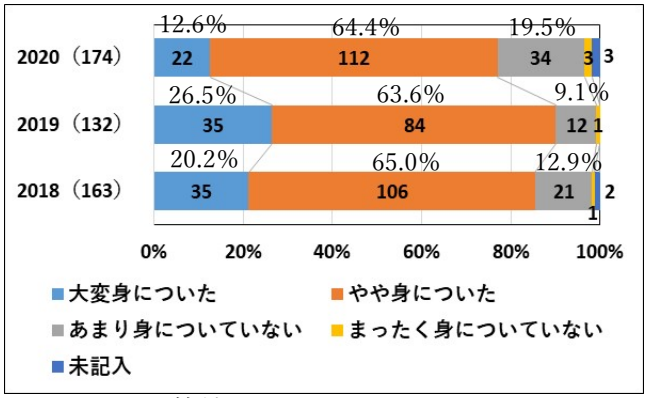


図　問 11 の回答結果

問 12　A（芸術的センス）について

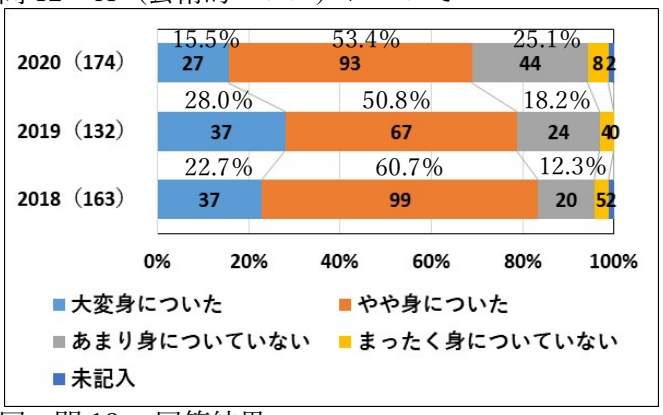


図　問 12 の回答結果

問 13　T（チームワーク）について

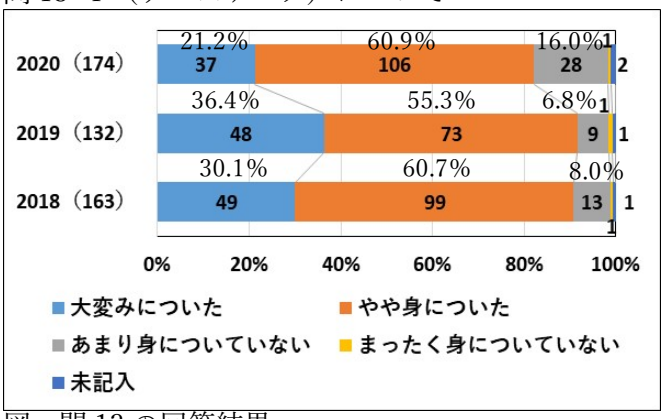


図　問 13 の回答結果

問 14 S（自己管理能力）について

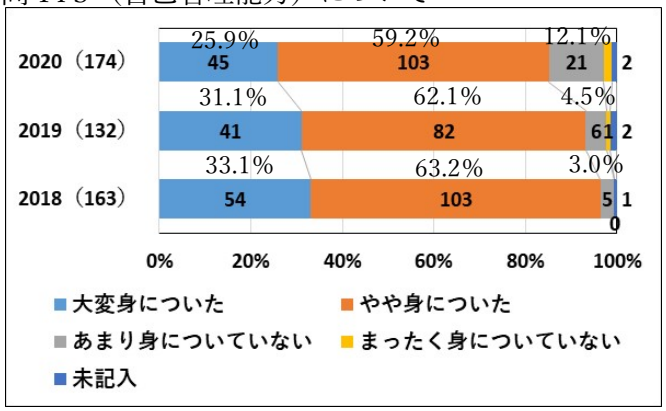


図　問 14 の回答結果

**分析結果（問 9～問 14）**

6 つの能力の成果については、C（コミュニケーション能力）、T（チームワーク）、S（自己管理能力）が「大変身についた」、「やや身についた」が 8 割以上占めている。

また、2019 年度の特徴として、A（芸術的センス）は、「あまり身についていない」の割合が他の項目と比べて割合が高くなっている。

**■学習状況について**

問 15 最初に計画を立ててから勉強した

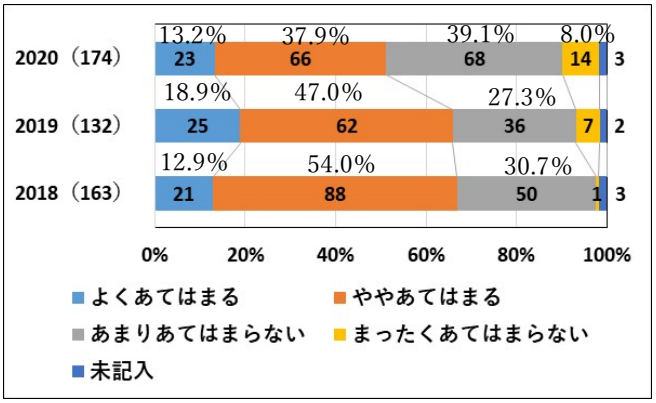


図　問 15 の回答結果

問 16　自分が分からないところはどこか見つけようとしながら勉強した

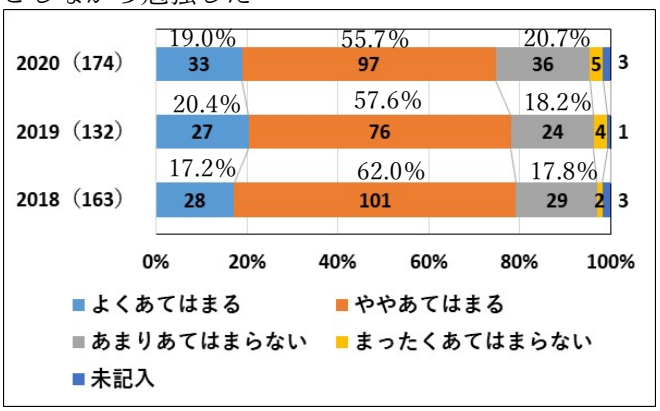


図　問 16 の回答結果

問 17　苦手な授業であってもよい成績を得ようと努力した

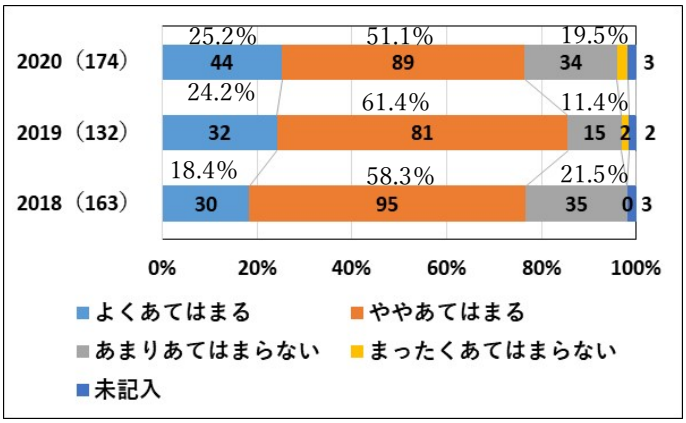


図　問 17 の回答結果

問 18　勉強のために時間をうまく使えていた

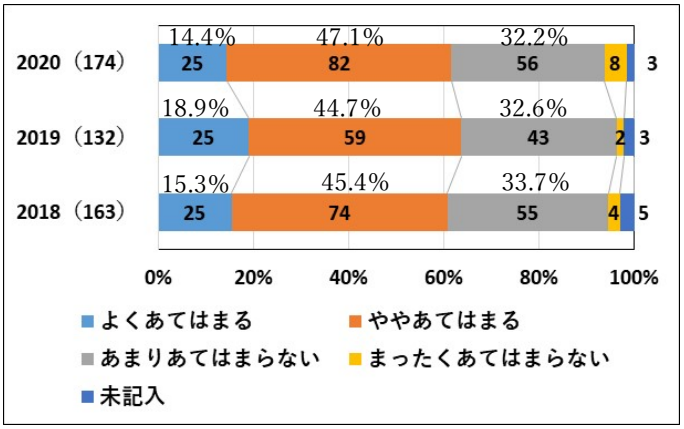


図　問 18 の回答結果

**分析結果（問 15～問 18）**

問 16、17 は「よくあてはまる」、「ややあてはまる」の割合が 6 割以上を占めている。しかし、問 15、問 18 については「あまりあてはまらない」が 3 割以上と学習計画や勉強における時間の使い方や、努力に対して学生自身の評価が低い。

問 19　卒業後の進路について満足していますか

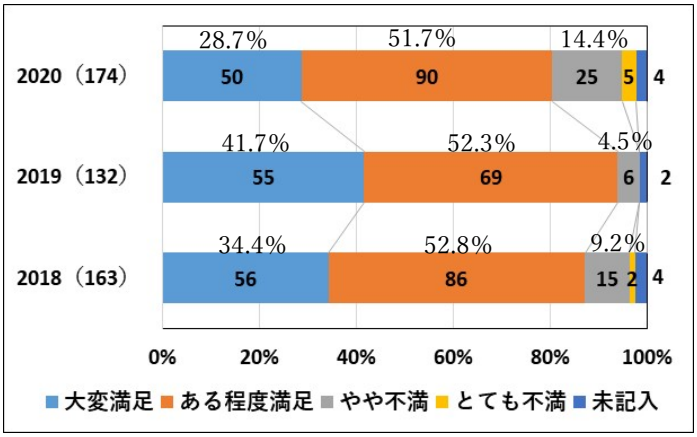


図　問 19 の回答結果

問 20　大学で学んだことが進路において役立つと思いますか

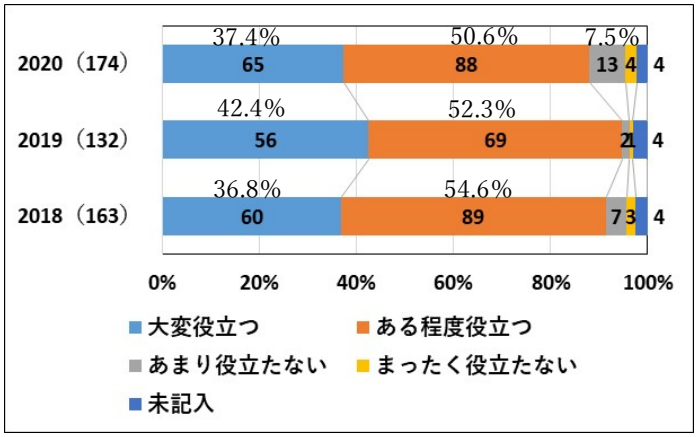


図　問 20 の回答結果

**分析結果（問 19～問 20）**

問 19、問 20 の「大変満足」、「ある程度満足」と回答した割合はいずれも 8 割以上である。ただし、2019 年は過去 2 年と比較して若干減少している。

**■大学に対する意見について**

問 21　授業の方法

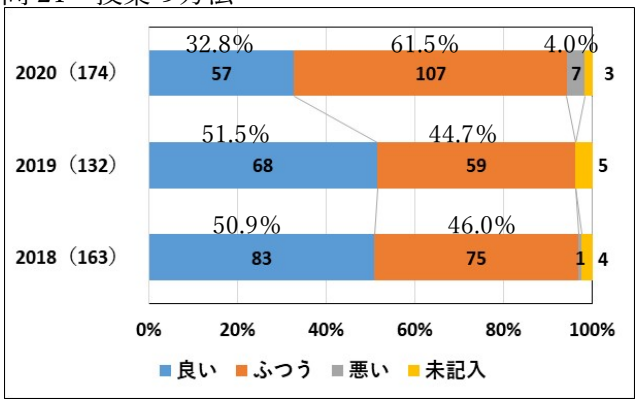


図　問 21 の回答結果

問 22　カリキュラム

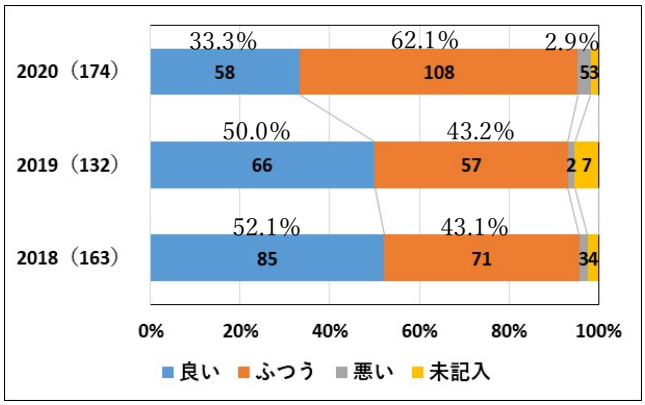


図　問 22 の回答結果

問 23　成績評価

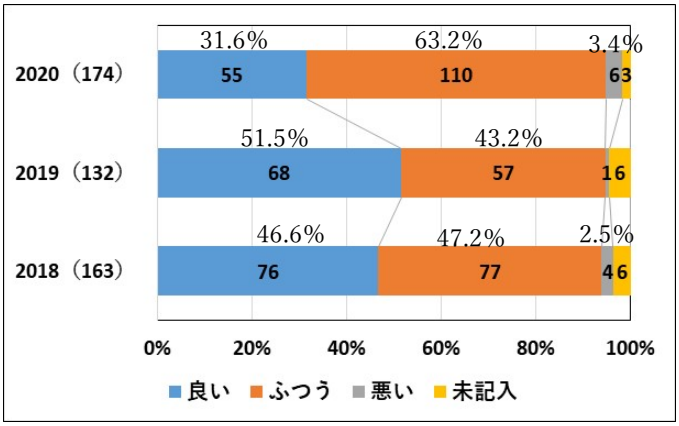


図　問 23 の回答結果

問 24　卒業論文・卒業研究

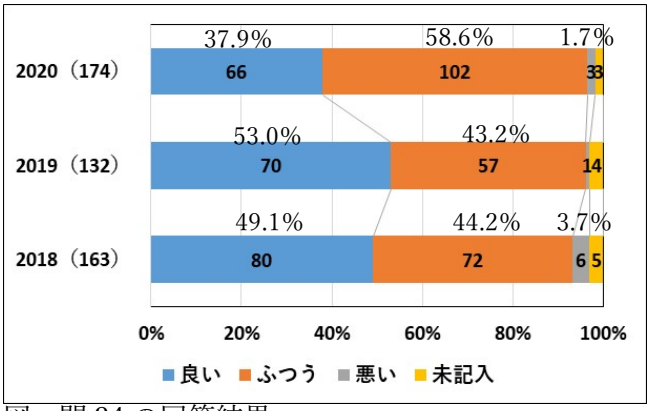


図　問 24 の回答結果

**分析結果（問 21～問 24）**

各項目ともに「良い」、「ふつう」の回答割合が 9 割以上を占めている。

問 25　留学制度と留学生の交流

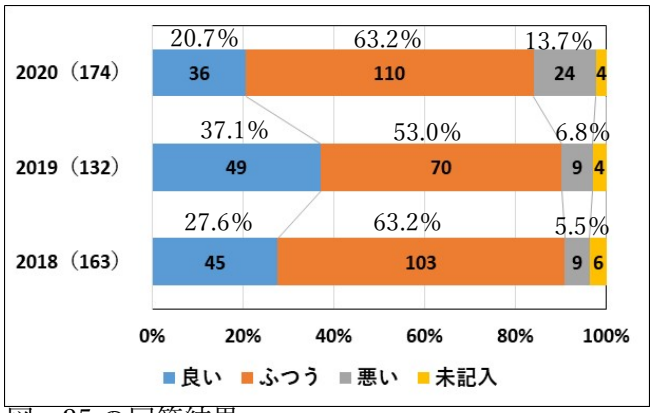


図　25 の回答結果

問 26　教員との関係

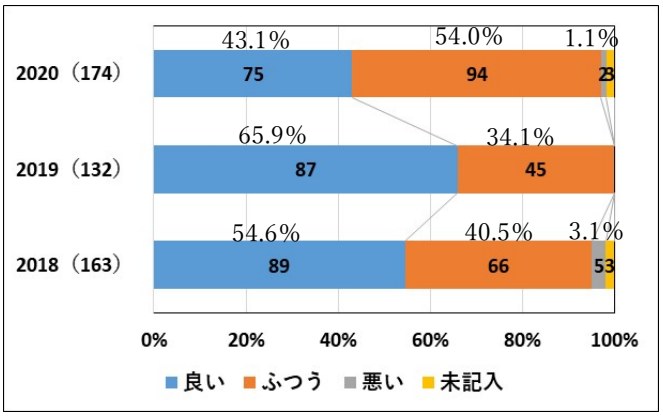


図　問 26 の回答結果

問 27　職員との関係

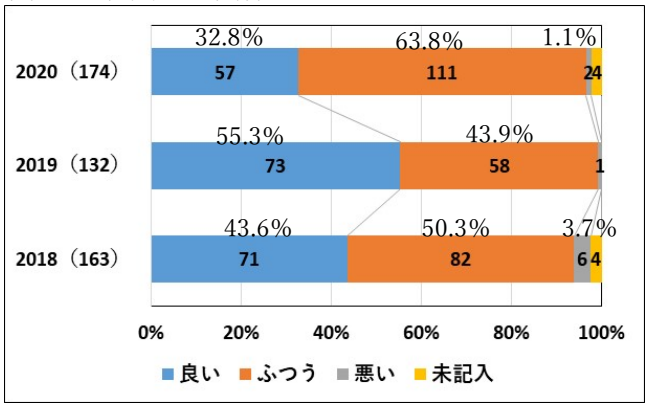


図　問 27 の回答結果

問 28　学生支援

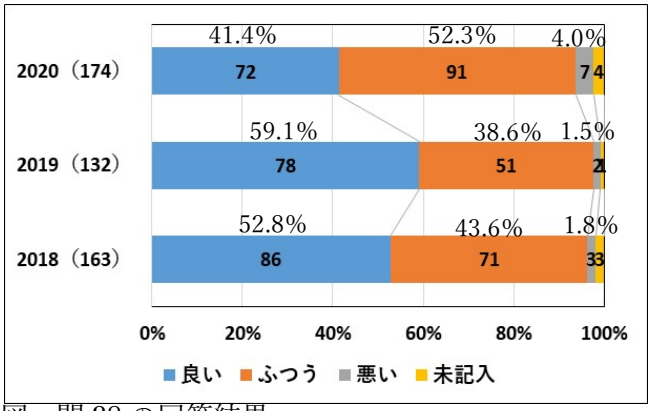


図　問 28 の回答結果

問 29　就職支援

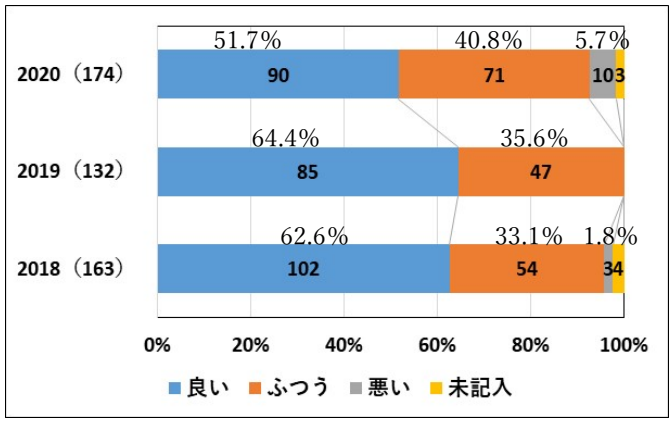


図　問 29 の回答結果

**分析結果（問 25～問 29）**

問 25 の留学制度と留学生の交流はコロナ禍の影響もあり、「悪い」が若干多くなっているが、問 26 から問 29 は「良い」、「ふつう」の回答割合が 9 割を超えてる。

問 30　課外活動

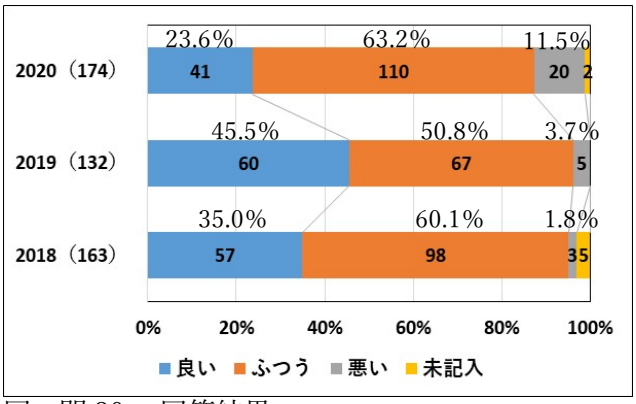


図　問 30 の回答結果

問 31　キャンパスの施設・設備

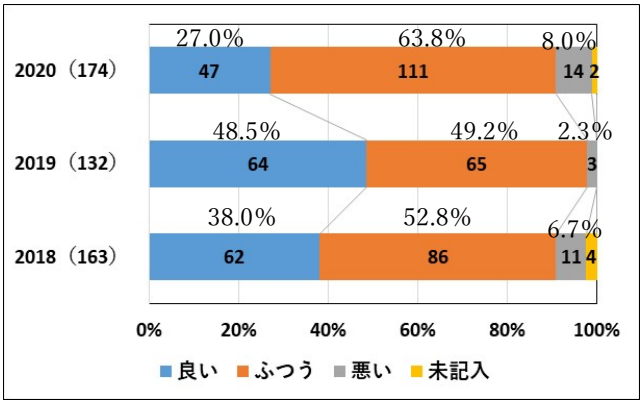


図　問 31 の回答結果

問 32　学内イベント・学園祭

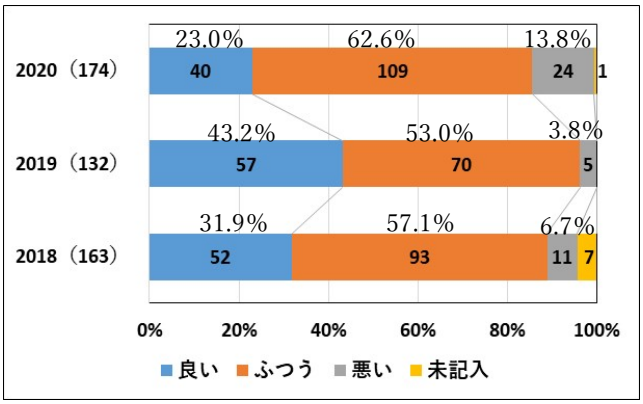


図　問 32 の回答結果

**分析結果（問 30～問 32）**

問 30（課外活動）と問 32（学内イベント・学園祭）に関しては、2019 年度は、過去 2 年間と比較して「悪い」の割合が高くなっている。

問 31 は、キャンパスの施設・設備に関しては、次年度以降はキャンパス統合後の初のデータとなる。これまでの学生の意識の変化を見ていく必要がある。

大学に対する意見については、本年度は「ふつう」と回答する学生が過去 2 年と比べると増加傾向にある。

【総括】

2019 年は C-PLATS に関しては、コロナ禍の影響の中、オンライン授業、対面授業など学習環境が例年と異なったが、学生の満足度は高い水準を維持できた。

一方、不満をもつ学生も一定数いるため、この点に関しては次年度以降も注目していく必要がある。

学習状況については、勉強の取り組み方法や、学習時間の確保など学生へのアドバイスや指導が必要と感じる。